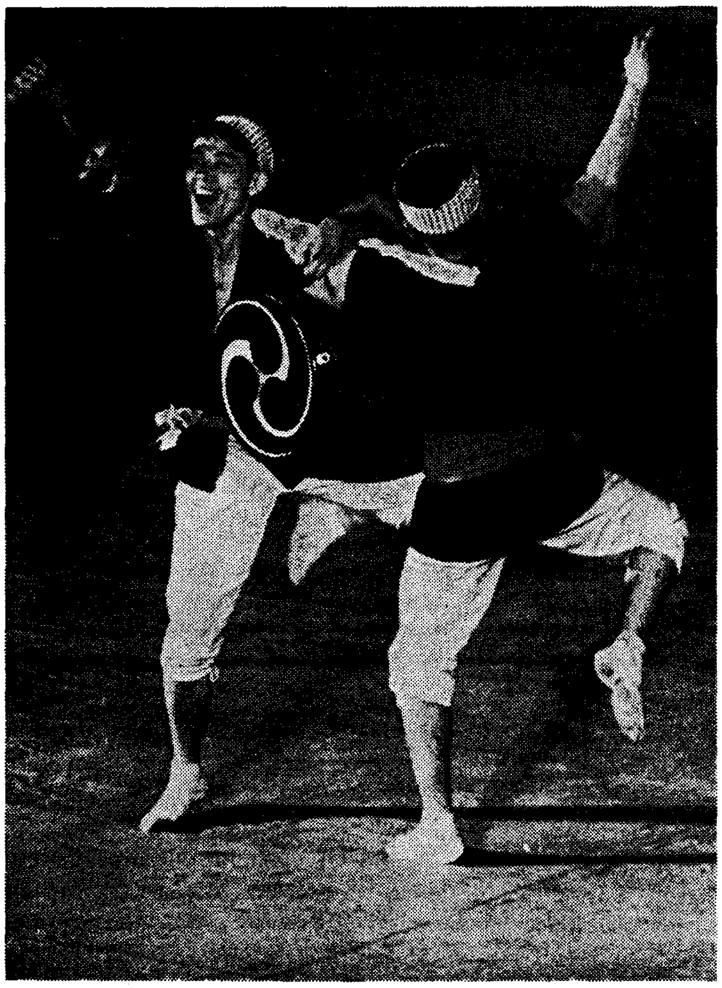
うたごえは平和の力
日本の太鼓よとどろけ！
ひびかせよう民族のうたを！

うたごえ新聞

編集　日本のうたごえ実行委員会
発行　うたごえ新聞社
東京都新宿区西大久保3の67
電話（361）5220〜1
1カ月　30円（〒共）
3カ月　90円、6カ月180円、1年350円


今年は中央合唱団、神奈川合唱団、地下鉄うたう会の仲間たちによって演奏された「銚子ばやし」

明けましておめでとうございます
一九六四年元旦
関鑑子

【六三年日本のうたごえ総会に於ける関先生の挨拶】

皆さん御苦労様でした。うたごえは昨年十周年の成功をかちとり、今年は二十周年にむかっての第一歩をふみだしました。お互に期待に応えようと皆さん、さまざまな御苦労があったことと思います。心から激励しあい、感謝しあいましょう。

長い間考えていても、なかなか実現されないことが、十一周年を迎えて、だんだんと、いま実現されつつあると思います。いま日本のうたごえ運動を通じて労働者の音楽をだれでも認めざるをえなくなっています。レーニンが労働者合唱団を提唱してから五十年、日本にそれに匹敵する男声合唱「地底」の作曲、演奏を得たことは感激すべきことです。困難な三池のたたかいの中で素晴しい業せきを残した荒木栄さんをたたえ、みなさんの賛同をえて荒木栄賞を設定したいと思います。演奏において、全国の合唱団は新しい世界をめざしてのたたかいをうたいあげ、労働者の生活と活動をみごとに表現しました。参加団体のすべてが、昨年より進歩し、演奏の内容がしっかりしていたと思います。優秀でない団体の方が少かった。どうしてこのようなすばらしい演奏ができたのでしょうか。それは、長いたたかいと訓練が演奏に現わされたからだと思います。望みを達成するために、困難な日常生活の中で得られたこの成果について十分検討され更に前進して下さい演奏、創作、組織の優秀な団体の中に気ずくことは、必ずそれを支えた活動家がいることです。このような活動家がふえればふえる程、一千万のうたごえ組織の実現が近ずいていきます。自分たちのまわりにもっと多くの活動家をつくってゆきましょう。

今年のうたごえ祭典には、各国大公使をはじめ、外国の来賓が百名を越えるほど参加されました。

外国の友人たちは、うたごえを音楽の運動として、日本の独立と平和をかちとる運動として期待をもってみています。

日本をアジアの平和のとりでにするために、戦争の苦しみの代りに、平和の建設のために一層努力しましょう。

今日のこの総会の統一と団結による力強い諸決議は、うたごえ祭典の成功を更に前進させ、一九六四年にむかっての輝かしい第一歩となるでしょう。みなさん、勝利をめざして頑張りましょう

1963年 日本のうたごえ祭典特集号

初の三日間 大音楽会

一九六三年日本のうたごえ祭典は十二月二日から四日間、全国十地方、四十三産業、四階層別四万六千名の参加で盛大にひらかれた。この一年、日韓会談粉砕、米原子力潜水艦「寄港」阻止、失対打切り反対、総選挙闘争等々、独立と平和をめざすはげしい闘いを反映し初の大音楽会三日間を三万八千名の参加で成功させ、二十周年に向けての新しい第一歩にふさわしい規模と充実した内容を示した。

合唱会発表

合唱発表会は二日間（十二月二日、三日）にわたり六〇団体が参加して開かれた。圧倒的な量の拡大と共に職場の前進がそのまま演奏に発表され、「地底の歌」をうたった地下鉄うたう会、怒りをこめてうたった三池炭鉱合同の「赤旗」日常の闘いがそのまま出された自労東京、東海センイなどは、全国の仲間に一千万をやり抜こうの決意をもえ立たせた。地域では一千万の運動を生き生きと示した府中こばとコーラス、中心合唱団では課題曲を立派にうたい安定した力量を示した合唱団が上位を占めた。

創作発表会

創作発表会（四日・共立講堂）参加二千名、今年十一月一日〆切までに全国で創作され実行委員会に結集された八七〇曲中、審査委員会推せん八八曲。その中から三五団体によって四六曲が演奏された。統一行動の中で作られ力となって来た〃力よ空にもえあがれ〃〃F105かえれ〃など全国民の課題に正面からとり組んだ作品。又一千万みんなうたう会運動をすすめる中で生れて来た〃みんな笑う日まで〃に代表される青年の若々しい創意にあふれた作品と演奏――。

〃たたき出せ正常化〃〃鉄路よひびけ〃〃勝利の日まで〃等々の職場のうたごえは歌い手、きき手の心をしっかりと結び合せ統一と団結で平和をかちとる大きな確信となってとどろいた。

「曲の発表会でなく、どう斗い運動を拡げて来たかの発表会だ」の内容がますます明らかになり〃うたごえを一千万人に〃の大きな確信となった。